

芝適用登録植物成長調整剤一覧表(芝草の草丈抑制・刈込軽減等)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	ハウントフフロアブル	グリーンフィールド水和剤	グリーンフィールド粒剤	ショートキープ液剤	ビオロックフロアブル	
一般名	バクロブトラゾール	フルルプリミドール	フルルプリミドール	ビスピリバックナトリウム塩	プロヘキサジオンカルシウム塩	
有効成分含有量	21.5%	50.0%	1.0%	3.0%	25.0%	
登録メーカー	シンジェンタ、住友化学、日本農業、日産化学	日本農業	日本農業	理研グリーン	クマイ化学、理研グリーン	
試験名	PP-333	EL-500	EL-500粒	KUH-913	KUH-833	
登録年月日	平成1年3月24日	平成1年5月18日	平成2年8月3日	平成9年4月30日	平成9年8月19日	
登録番号	17229・17231	17317	17622	19644	19685・19686	
登録上	作物名	日本芝、西洋芝(バント・ブルー・ライ・フェスク・オーチャート)	日本芝、西洋芝(バントグラス・ハ・ミューダ・ブルーグラス・ペレニアルライグラス)	日本芝、西洋芝(バントグラス・ハ・ミューダ・ブルーグラス)	日本芝、日本芝(ノシバ)西洋芝(バントグラス・ブルーグラス)	日本芝、西洋芝(バントグラス・ブルーグラス)
	雑草	日本芝:一年生雑草、西洋芝:スズメノカタビラ*	1年生雑草・多年生雑草・スズメノカタビラ密度低減(バントグラス)	1年生雑草・多年生雑草	日本芝:1年生雑草及び多年生雑草、ノシバ:メリケンカルカヤ西洋芝:スズメノカタビラ	草丈の伸長抑制による刈込み軽減、芽数増加
	使用時期	日本芝:生育期・雑草発生初期、西洋芝:刈込7日前-刈込直後・春夏期スズメノカタビラ出穂前・秋冬期発生前～初期	芝生育期、雑草:発生前～始期、芝生育初～芝生育盛期	生育期初期～生育盛期	日本芝:春夏期雑草生育期芝生育期、ノシバ:春夏期芝生育期(メリケンカルカヤ生育期)、西洋芝:スズメノカタビラ出穂前	生育期
	薬量	日本芝:0.75～1.5ml/m ² 、西洋芝(バント・ブルー・ライ・フェスク・オーチャート):0.04～0.4ml/m ²	日本芝:0.2～0.4g/m ² 、西洋芝:0.1～0.2g/m ² 、雑草:0.4～0.8g/m ² 、*日本芝草丈伸長抑制:0.025～0.075g/m ² 、*スズメノカタビラ密度低減(バントグラス):0.025～0.05g/m ² 、*バントグラス草丈伸長抑制:0.0125～0.05g/m ² 、*ペレニアルライグラス草丈伸長抑制:0.025～0.075g/m ²	日本芝:10～20g/m ² 、西洋芝(バントグラス・ハ・ミューダ・ブルーグラス):5～10g/m ²	日本芝:0.5～1ml/m ² 、ノシバ:0.75～1.0ml/m ² 西洋芝(バントグラス・ブルーグラス):0.1～0.2ml/m ²	日本芝:0.04～0.08ml/m ² 、西洋芝(ブルーグラス):0.04～0.08ml/m ² 、西洋芝(バントグラス):0.02～0.06ml/m ² 、日本芝:無人ヘリ:20倍
	水量	0.1～0.3L/m ²	0.25～0.3L/m ² *0.1～0.3L/m ²		0.1～0.2L/m ²	*0.8ml/m ² 0.1～0.2L/m ²
	使用方法	雑草茎葉散布・全面散布	全面均一散布	全面均一散布	雑草茎葉散布	*無人ヘリ、茎葉散布
急性経口毒性LD ₅₀	普:6,000mg	普:ラット♂1,698mg/kg、♀1,972mg/kg	普:ラット♀>5,000mg	普:ラット>5,000mg/kg(製剤)	普:ラット>5,000mg/kg	
魚毒性 TLM	コイ:186ppm	A:コイ・13.29ppm(原体)、13.6ppm(水和剤)	A:コイ・1,087ppm	A:コイ・16.6ppm(製剤)	A:コイ・597ppm	
水溶解度	35ppm	130ppm 25℃		73.3g/L	174.2mg/L	
半減期		火山灰土:80日 沖積土壌:50日		5～16日	5日以内	
雑草スペクトラム		1年生>多年生、広葉>イネ科	1年生>多年生、広葉>イネ科	スズメノカタビラ出穂抑制効果	カタビラに抑制あり	
樹木等への影響	新梢の抑制	通常の使用で問題無し	樹種により当年枝の伸長抑制有	ドリフト注意	なし	
洋芝への影響	生育期に処理	萌芽期は使用避ける	萌芽期は使用避ける	一時的な黄化・抑制有	なし	
作用機作	ジベレリンの生合成阻害、根部吸収	ジベレリンの生合成阻害、根部吸収	ジベレリンの生合成阻害、根部吸収	茎葉部吸収移行型細胞分裂阻害	ジベレリンの生合成阻害	
効果	発現	5～10日	10～15日	2週間程度	2～3日	5～7日
	残効	45～65日	120～150日位	120～150日位	30日～40日	30～40日
流通	シンジェンタ	ニチノ一緑化	ニチノ一緑化	理研グリーン	理研グリーン	
包装	250ml×4	500g×4、*50g×20	5kg×2	1L×5	100ml×8、500ml×8	
A価¥/kg.L	35,000	74,000	3,300	16,480	65,000	
¥/m ²	1.4～52.5	0.9～59.2	16.5～66	1.6～16.5	1.3～5.2	
備考		*50g×20 ¥68,500/kg 非農耕地・法面雑草抑制にも適用あり	非農耕地・法面雑草抑制にも適用あり	非農耕地用登録有り	(*無人ヘリ散布:¥3.3/m ²)	

芝適用登録植物成長調整剤一覧表(芝草の草丈抑制・刈込軽減等)

2024.2.13(24-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	プリモマックス液剤	プロキシ液剤	ナインG乳剤	ドラード液剤	
一般名	トリネキサバックエチル	エテホン	ニコスルフロン	ベンジルアミノプリン	
有効成分含有量	11.2%	21.5%	4.0%	2.0%	
登録メーカー	シンジェンタ ジャパン	エンバイロサイエンス	石原バイオサイエンス	理研グリーン	
試験名	CG-186	BES-004	SL-950乳剤		
登録年月日	平成19年5月9日	平成23年6月22日	平成24年5月30日	平成24年9月26日	
登録番号	21959	22933	23085	23120	
登録上	作物名	日本芝、日本芝(シハ・コウライ)、西洋芝(ブルー・ベント・パーミュータ)	西洋芝(ベントグラス・ケンタッキーブルーグラス)	日本芝、西洋芝(パーミュータ)、日本芝(のしぼ)	西洋芝(ベントグラス・ケンタッキーブルーグラス)
	雑草	草丈の伸長抑制による刈込み軽減、芽数増加及び根量増加	スズメノカタビラ	チガヤ、草丈の伸長抑制による刈込み軽減(のしぼ)	スズメノカタビラ
	使用時期	芝生育盛期	スズメノカタビラ出穂前	春夏期芝生育期(雑草生育期)・芝生育期(雑草生育期)(チガヤ)、春夏期芝生育期(のしぼ)	春夏期 芝生育期(スズメノカタビラ出穂前～出穂初期)
	薬量	日本芝:0.05～0.1ml/m ² 、 日本芝(シハ):0.05～0.075ml/m ² 、 日本芝(コウライ):0.035～0.075ml/m ² 、 西洋芝(ブルー):0.05～0.2ml/m ² 、 西洋芝(ベント):0.05～0.075ml/m ² 、 西洋芝(パーミュータ):0.05～0.14ml/m ² 、 日本芝、西洋芝(ブルー):*無人航空機0.05～0.1ml/m ²	西洋芝(ベントグラス・ケンタッキーブルーグラス):1～1.5ml/m ²	日本芝・西洋芝・のしぼ:0.1～0.15ml/m ²	西洋芝(ベントグラス・ケンタッキーブルーグラス):0.6～1.2ml/m ² ・エテホン加用:0.3～0.6ml/m ²
	水量	0.05～0.2L/m ² *0.8～1.6ml/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.1～0.2L/m ²	0.1～0.2L/m ²
	使用方法	全面均一散布 *無人航空機	雑草茎葉散布	散布	雑草茎葉散布 *エテホン21.5%液剤1.0ml/m ² 加用のうえ雑草茎葉散布
急性経口毒性LD ₅₀	普:ラット♂♀5,000mg/kg以上	普:ラット♀>2,000mg/kg	普:マウス♂♀>5,000mg/kg ラット♂♀>5,000mg/kg	普:マウス♂♀1,300mg/kg	
魚毒性 TLM	コイ・29.9ppm	コイ435mg/L(96h)	コイ・47.3mg/L(96h)	コイ・38.5mg/L(96h)	
水溶解度	1,100ppm	水に良く溶解	9.50g/L、pH6.7、20.8℃		
半減期	土壌中で3日以内		2～5日		
雑草スペクトラム		スズメノカタビラを出穂抑制	一年生雑草全般・チガヤ、ススキ	スズメノカタビラ出穂抑制効果	
樹木等への影響	通常の使用で問題なし	土壌処理、茎葉処理とも認められず			
芝への影響	日本芝と同様に抑制効果あり	安全性高い	寒地型西洋芝に強い薬害あり		
作用機作	ジベレリン合成阻害による芝地上部の伸長抑制	エチレン様作用	アセトラクテート合成阻害		
効果	発現	5日～10日	1～2週間		
	残効	30日～60日	約30日	土壌残効は短い	
流通	シンジェンタ ジャパン	理研グリーン(エンバイロサイエンス)	石原バイオサイエンス	理研グリーン	
包装	250ml×4	1L×6	250ml×10	1L×3	
A価¥/kg.L	57,000	17,190	22,000	30,000	
¥/m ²	2～11.4	17.2～25.8	2.2～3.3	9～36	
備考	ベントグラスに対する芽数及び根量増加に適用あり	他の植物調整剤との混用でさらに効果安定	樹木等登録有り		